

令和 2 年度東京農業大学 外国人・帰国子女入学試験問題

英 語

解答は解答用紙（マーク式）にマークしてください。

Mark your answers on the separate answer sheet.

I Read the following passage and choose the best answer.

Agriculture is a very important sector in every country's economy; no state will take their concern off the tremendous help agriculture does to each of them!

Admiringly, in the U.S. alone, crops, seafood, and livestock have a contribution to the sum of more than \$250 billion in strengthening the economy each year. Further, a combination of food-service and agriculture-related companies have made a tremendous impact, and they've improved the gross domestic product (GDP), raising it to the peak of more than \$700 billion. With these brief statistics, who would argue the fact that agriculture needs keen attention by the government? Definitely no sane person would do!

Naturally, agriculture is excellent under moderate climate change. It is experimented and validated that when there is sufficient presence of carbon dioxide in the atmosphere, plants and crops germinate* () and grow well. But if the reverse is the case, that is, when floods, droughts and intense climate change occurs, it will lead to a reduction in yield, low-quality product and sadly limiting the availability of foods for consumption.

Notes : **germinate** start to grow

1 Which of the following is closest in meaning to the underlined phrase "have a contribution to"?

- ① run short of ② try to encourage ③ stand up for ④ play a part in

2 Which of the following is correct about the passage?

- ① Agriculture and climate change are closely related.
② Agriculture is not so important in some countries.
③ Climate change cannot be stopped, so we had better give up raising crops.
④ There is no problem besides climate change in every country's economy.

3 Which of the following is the most suitable word for ()?

- ① fast ② slow ③ bad ④ good

4 Which of the following is closest in meaning to the underlined sentence "Definitely no sane person would do!"?

- ① Everybody discusses the point.
- ② Nobody disagrees with the idea.
- ③ All the people need attention.
- ④ Some of them are aware of it.

5 Which of the following is the most appropriate title for the passage?

- ① Agriculture and Climate Change
- ② American Government Policies on Agriculture
- ③ How to Prevent Droughts and Floods
- ④ Carbon Dioxide in the Atmosphere

II Identify the underlined expression that must be changed in order to make the sentence grammatical.

6 The investigators studied and analyzed the accident on every conceivable angle.
① ② ③ ④

7 Her modesty would not allow her to make her feel known to me.
① ② ③ ④

8 Take your time. We have plenty of times to shop.
① ② ③ ④

9 I can't tell you the whole story, but to the brief, my wife isn't coming this Christmas.
① ② ③ ④

10 Can I try on this shoes just to see if they fit me or not?
① ② ③ ④

11 The restaurant is about twenty minutes from here by foot. How about taking a taxi?
① ② ③ ④

12 Once you have been got your ideas, you have to find the best way of presenting them.
① ② ③ ④

13 Since you fond science fiction, I am sure you will find this book interesting.
① ② ③ ④

14 My uncle congratulated me about the completion of my trial period in the company.
① ② ③ ④

- 15 Admitted what you say, the fact remains that there were important economic problems
① ② ③
- between the two countries.
④

III Choose the word or phrase that best keeps the original meaning of the sentence if it is used in place of the underlined expression.

- 16 She wondered how long Jane could sustain this conversation.
① enjoy ② maintain ③ leave ④ understand
- 17 He had to accept that there were still prejudices against women.
① judgements ② kindnesses ③ prospects ④ discriminations
- 18 The plant is in full operation.
① blooming ② surgery ③ behavior ④ performance
- 19 We are against working on Sundays.
① close to ② in case of ③ opposing to ④ in favor of
- 20 The movie star is well-known both at home and abroad.
① overseas ② family ③ office ④ inside

令和2年度 東京農業大学 外国人・帰国子女試験問題

第1問 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

明治期以降の日本の、とくに知識人のあいだで、ヨーロッパ文化は①アコガれの対象だった。ただそこには往々にして、ア萩原朔太郎が《ふらんすへ行きたしと思へども／ふらんすはあまりに遠し》（旅上）と歌ったように、近づきがたいからこそ惹かれるという面があっただろう。ともあれ、主として書物の翻訳を紹介してヨーロッパ文化は「異文化」であると同時に日本文化の一部にもなった。

第二次世界大戦後、その位置は、乗用車や電化製品、消費生活、ロック音楽などに象徴されるアメリカ文化に移る。

その際にヨーロッパであれアメリカであれ、それを見つめるまなざしには、異国情緒にとどまらない、いつか追いつくべき「高み」が映っていた。否定面も含む実像を直視していたというより、「舶来」文化の「上澄み」から願望像がつくられていたのだ。

イ近年では世界の文化への相対視が進み、Ⅰ二〇〇〇年代初頭の韓流ドラマやK－POPの流行に見られるように、これまで注目されていなかった地域へと関心は拡がった。そのこと自体は欧米中心主義の②カタヨリを是正する至当な方向である。ただ、飽きればすぐ別なものを見つけるという、文化の「上澄み」を消費している点では同様だ。

そしてその反面で、一九八〇年代「バブル経済」期の頃より、金で何でも買えるという全能感も手伝ってか、外国文化を採り入れようという熱意が一般に薄まってゆく。Ⅱ今日では逆に、経済の③停タイに伴った妙な自信喪失への穴埋めをすべく、「日本はスゴイ」といったウ夜郎自大な書籍やテレビ番組が目立つ。いずれにせよ、「内向き」傾向は確実に強まった。

Ⅲ交通も情報も以前と比べものにならない発展を遂げた現在、たとえ積極的に異文化と向き合おうとしなくとも、それと直面する機会是否応なしに増えている。インターネットで世界各地の情報が瞬時にして入ってくるという、ⅣAな領域だけではない。観光地やリゾート、主要ターミナル駅では日本語と並び観光客の種々の異国語が飛び交い、労働現場でも外国人の就労が増え、それらはいまや経済・産業構造内で無視しえない比重を占めている。

こうして言語・生活慣習の異なる人びととじかに接する機会が④ヒン繁になると、もはや「上澄み」の享受だけではすまず⑤摩サツも生ずる。なんととはなしの違和感が抱かれもすれば、仕事を奪われるのではといった漠たる不安、あげくには外国人と犯罪を直結させた、外国人を閉め出せといった暴論すら支持を得やすい地盤ができる。

これらの多くは、現実の客観的分析や論理的思考を欠いた根拠

薄弱で感情的な反応であるのだが、非合理的な情念ほど克服するのは難しいものだ。そして多数派が自らの価値観を譲らず「違い」を認めないとき、「差別」や「排外主義」、最近では「レイシズム」と呼ばれる事態が起こる。これは残念ながら、時代も地域も越えて広範に見られる現象だ。

無関心や敵視よりはるかにましだったとはいえかつての手放しの欧米文化崇拜も、昨今の排外主義も、概して対象への半可通に甘んじている点では通底している。

（初見基 「異文化に向きあう―現代ドイツの政治文化」より）

問一 傍線部①～⑤のカタカナを漢字に直したものととして正しいものを、次の1～5のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

①	アコガレ	1 憧	2 戯	3 臃	4 惚	5 慈
②	カタヨリ	1 偏	2 屈	3 辺	4 外	5 該
③	停タイ	1 対	2 退	3 滯	4 帯	5 体
④	ヒン繁	1 品	2 貧	3 賓	4 頻	5 牝
⑤	摩サツ	1 冊	2 殺	3 擦	4 札	5 刷

問二 空欄ⅠⅢに入る最も適当な語句を、次の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

1 また 2 たとえば 3 しかし 4 なぜならば

問三 傍線部ア「萩原朔太郎」の詩集を次の1～5より一つ選びなさい。

1 智恵子抄 2 月に吠える 3 若葉集
4 抒情小曲集 5 春と修羅

問四 傍線部イ「近年では世界の文化への相対視が進み」とあるが、

それはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

- 1 近年では、日本においては欧米崇拜主義からの脱却として、同じアジアの国である韓国など、従来あまり注目されていなかった国への関心がたかまってきたということ。
- 2 近年では、グローバル化に伴い、欧米以外の韓国などの文化や価値観に世界が注目するようになり、アジアの中で、日本以外にも世界から注目を浴びるような国がでてきたということ。
- 3 近年では、世界のグローバル化が進んできた結果として、それぞれの国が独自に持っていた文化の特色や価値観が画一化し、平均化してその特色が無くなってきたということ。
- 4 近年では世界にある国々はそれぞれの文化の特色と価値を持っているが故に、それぞれの文化の良さをお互いに認め合うことが大切であるというようになってきたということ。
- 5 近年では、明治以降の手放しの欧州文化崇拜ではなく、アメリカ化した文化への願望が非常に高くなり、日本文化の中にアメリカの文化が融合されてきたということ。

問五 傍線部ウ「夜郎自大」とあるが、その意味として最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

- 1 われを忘れて一つの事に熱中すること。
- 2 あまりに内容がひどくて言いようのないこと。
- 3 自分の力量を知らないで、幅を利かす態度をとること。
- 4 みんなが口をそろえて同じことを言うこと。
- 5 人の意見を心に留めずに聞き流すこと。

問六 空欄 A に入るべき最も適当な語句を、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

- | | | |
|----------|---------|-----------|
| 1 ヴァーチャル | 2 アイロニー | 3 アバンギャルド |
| 4 アンチテーゼ | 5 エスプリ | |

問七 次の1～5について、本文の内容に合うものには○を、そうではないものには×を付けて答えなさい。

- 1 明治以降から今日まで続く、日本人の欧米崇拜の在り方は、依然として世界の中心をなすのは欧米文化であるという考えに基づいている。
- 2 かつての手放しの欧米文化崇拜も、今日の排外主義も、ともに皮相上滑であり、よく知らないことを知ったかぶりになって振る舞っているようなものである。
- 3 日本における異文化理解は、奈良時代の中国文化にはじまり、明治においては欧州文化の理解、第二次大戦後は米国文化の受容へと、時代と共に変遷していった。
- 4 今日の文化相対主義のもとでは、世界の国々は、自国の文化の特色を前面に出し、異国の文化を摂取受容しようとはあまり思わなくなっている。
- 5 日本の文化は重層的になっており、三角形の底辺の土台部分に中国文化があり、中間層にヨーロッパ文化があり、先端部分にはアメリカ文化がある。

第2問 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

遠浅の海辺。砂浜が緩やかな弓形に広がる。海を渡ってくる風が強い。空が海に溶け、海が陸地に接する場所には、生命の謎を解く何等かの破片が①サン逸しているような気がする。だから私たちの夢想もしばしばここからたゆたい、ここへ還る。

ちようど波が寄せてはかえす接線ぎりぎりの位置に、砂で作られた、ア緻密な構造を持つその城はある。ときに波は、深く掌を伸ばして城壁の足元に達し、石組みを模した砂粒を奪い去る。吹きつける海風は、城の望楼の表面の乾いた砂を、薄く、しかし絶え間なく削り取っていく。ところが奇妙なことに、時間が経過しても城は姿を変えてはいない。同じ形を保ったままじつとそこにある。いや、正確に言えば、姿を変えていないように見えるだけなのだ。

砂の城がその形を保っていることには理由がある。眼には見えない小さな海の精霊たちが、たゆまずそして休むことなく、削れた壁に新しい砂を積み、開いた穴を埋め、崩れた場所を直しているのである。それだけではない。海の精霊たちは、むしろ波や風の先回りをして、壊れそうな場所をあえて壊し、修復と補強を率先して行っている。それゆえに、数時間後、砂の城は同じ形を保ったままそこにある。おそらく何日かあともなお城はここに存在していることだろう。

しかし、重要なことがある。今、この城の内部には、数日前、同じ城を形作っていた砂粒はたった一つとして留まっていないという事実である。かつてそこに積まれていた砂粒はすべて波と風が奪い去って海と地にもどし、現在、この城を形作っている砂粒は新たにここに盛られたものである。つまり砂粒はすっかり入れ替わっている。そして砂粒の流れは今も動き続けている。にもか

かわらず楼閣は確かに存在している。つまり、ここにあるのは実体としての城ではなく、流れが作り出した「効果」としてそこにあるように見えているだけの動的な何かなのだ。

さらにいえば、砂の城を絶え間なく分解し同時に再構成している海の精霊たちでさえ、自らそのことに気づいていないにもかかわらず、彼らもまた砂粒から作られている。そしてあらゆる瞬間に、何人かが元の砂粒に還り、何人かが砂粒から新たに生み出されている。精霊たちは砂の城の番人ではなく、その一部なのだ。

むろん、これは比喩である。しかし、砂粒を、自然界を大循環する水素、炭素、酸素、窒素などの主要元素と読みかえさえすれば、そして海の精霊を、生体反応をつかさどる酸素や基質に置き換えさえすれば、砂の城は生命というもののありようを正確に記述していることになる。生命とは要素が集合してできた構成物ではなく、要素の流れがもたらすところの効果なのである。

このシンプルな、しかし転換的な生命観を私たちが本当の意味で発見したのはそれほど昔の事ではない。私たち、という言い方はもちろん公平ではない。この事実を精密な実験で、つまりマクロな現象をミクロな解像力を以て証明したのは、ルドルフ・シェーンハイマーという人物であり、イそれがなされたのは一九三〇年代後半のことだった。つまり私たちは、まったく新しい生命観に②遭グウしてからまだたった七十年程度を経たにすぎず、しかも彼が明らかにしたものの意味を十分③ソ|嚼できたわけでもない。むしろ私たちは彼の名と彼の業績を忘れかけさえしているのだ。

(中略)

秩序は守られるために、絶え間なく壊されなければならない。

なぜか？ここにシュレーディンガーの予言が重なる。一九四四年、シェーンハイマーの死後三年して出版されたシュレーディンガーの『生命とは何か』で、彼は、先に記したように、すべての物理現象に押し寄せるエントロピー（乱雑さ）増大の法則に抗して、秩序を維持しうることが生命の特質であることを指摘した。しかしウその特質を実現する生命固有のメカニズムを示すことはできなかった。

エントロピー増大の法則は④容シ|ャなく生体を構成する成分にも降りかかる。高分子は酸化され分断される。集合体は離散し、反応は乱れる。タンパク質は損傷をうけ変性する。しかし、もし、やがては崩壊する構成成分をあえて先回りして分解し、このような乱雑さが蓄積する速度よりも早く、常に再構築を行うことができれば、結果的にその仕組みは、増大するエントロピーを系の外部に捨てていることになる。

つまり、エントロピー増大の法則に抗う唯一の方法は、システムの耐久性と構造を強化することではなく、むしろその仕組み自体を流れの中に置くことなのである。つまり流れこそが、生物の内部に必然的に発生するエントロピーを排出する機能を担っていることになるのだ。

ることになるのだ。

私はここで、シェーンハイマーの発見した生命の動的な状態(dynamic state)という概念をさらに拡張して、動的平衡という言葉を導入したい。この日本語に対応する英語は、dynamic equilibrium（ダイナミック・イクイリブリアム）である。海辺に立つ砂の城は実体としてそこに存在するのではなく、流れが作り出す効果としてそこにある動的な何かである。私は先にこう書いた。その何かとはすなわち平衡ということである。

自己複製するものとして定義された生命は、シェーンハイマーの発見に再び光を当てることによって次のように再定義されることになる。

生命とは動的平衡にある流れである。

(福岡伸一『福岡伸一、西田哲学を読む』より)

問一 傍線部①～④のカタカナを漢字に直したものとして正しいものを、次の1～5のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

①	サン 逸			②	遭グ ウ			③	ソ 嚼			④	容シ ャ		
	1	参	2		1	寓	2		1	素	2		1	写	2
	3	酸	4		3	遇	4		3	疎	4		3	舍	4
	5	散			5	隅			5	訴			5	捨	
		栈				偶				咀				赦	

問二 傍線部ア『緻密な構造を持つその城』とあるが、波や風や砂によつて作られる城は何をいうための比喩となっているのか、次の1～5のうちから最も適当なものを一つ選びなさい。

- 1 生命そのものの在り方を示し、生命とは流れが作り出した動的平衡であるということ。
- 2 生命の秩序は、絶え間なくくずされなければならないというエントロピー増大の法則のこと。
- 3 生命そのものの在り方を示し、生命とは常にシステムの耐久性と構造を強化しなければいけないということ。
- 4 生命と自然との緊密な繋がりを示し、生命とは自然の中で豊かさを保つものであるということ。
- 5 生命の在り方を自然界にある風や砂や波の在り方で示し、生命は柔らかなものであるということ。

問三 傍線部イ『それ』とあるが、その指示する内容を本文中の語句を使って答えなさい。

問四 傍線部ウ『その特質を実現する生命固有のメカニズム』とあるが、それはどういうことを説明した次の文の空欄Ⅰ・

Ⅱに、本文中よりⅠは三文字、Ⅱは二文字でふさわしい語句を抜き出して答えなさい。

秩序を維持することが生命の本質であるが、エントロピー増大の法則は生体を構成する成分にも降りかかるので、このエントロピー増大の法則に抗う唯一の方法は、崩壊する構成成分を先回りして分解することである。つまり、常に流れによってⅠを行うことができればよい。流れが作り出す効果としてそこに在る動的な

Ⅱこそがその方法である。

問五 本文中の二重傍線部『生命の謎』と『発見』という語句を使って四十字以内で短文を作りなさい。(文として完結している事)

第3問 次の各問いに答えなさい。

問一 文意が通じるように、アからエの文の空欄に、最も適当な助詞をそれぞれ一文字入れて答えなさい。

ア この券は指定のお店()しか使えない。

イ 姉も妹も同じもの()注文した。

ウ それは間違いだ()と思う。

エ レポートを提出するために教官室()行った。

問二 次の会話を読んで、後ろの1～5のうちから正しいものを選びなさい。(一つとは限らない)

女の人 ハチに刺されたことがありますか？

男の人 はい、ズズメバチに刺されたことがありますが、その時は腕が腫れて、物凄く痛かったです。

女の人 私も一度刺されたけれど、次は気をつけなさいとお医者さんに言われました。私の場合は、アレルギー体質だから、次にハチに刺されたらアレルギー反応を起こすかもしれないとのことでした。場合によっては死ぬかもしれないらしい。

男の人 ヘー、怖いんだね。刺されないように気を付けなくてはいけないね。

1 二人はハチの種類について真剣に話をしている。

2 二人は、共にハチに刺されたことがある。

3 男の人はアレルギー体質である。

4 女の方は、ハチに刺された時にアレルギー反応を起こした。

5 女の方は、ハチに刺されないように特に注意が必要である。

問三 次の文を単語に区切ったものとして、適切なものを次から一つ選びなさい。

1 春の／訪れと／豊かな実りを／祝う／ものです。

2 春の訪れと／豊かな実りを／祝うものです。

3 春の／訪れと／豊かな実り／を／祝う／ものです。

4 春の訪れと／豊かな実り／を／祝うものです。

令和2年度 東京農業大学 外国人・帰国子女試験問題解答欄

日本語	科目
	学科
学科	受験番号
番	氏名

第1問

問七	問三	問二	問一
1		I	①
2	問四	II	②
3	問五	III	③
4			④
	問六		
5			⑤

第2問

問一	
①	
②	
③	
④	
問二	

問三	問四	問五			
	I				
	II				

第3問

問二	問一
	ア
	イ
問三	ウ
	エ